

選択 C「映像で見る社会問題」

授業担当：地歴公民科教諭 廣段和也

この授業は、映画や映像資料を題材とし、社会にみられる諸問題について考察を行っています。グローバル化が進展し、日本においても多文化が加速するなかで、自分と他人の差異を感じるが多くなっている。その差異をどのように捉えるのか、どのように捉え生活していくのか、ということを考えながら、様々な価値観に触れていきます。主に、様々な社会問題の背景となる歴史を学び、現代の問題に当てはめ議論を中心に活動を行っています。今年度、これまでに扱った内容は以下のようになります。

- ・『インビクタス/負けざる者たち』(2009年)
- ・『ヘルプ ～心がつなぐストーリー～』(2011年)
- ・BLM
- ・公民権運動
- ・アフターマティブ・アクション
- ・ジェンダー



映画パッケージ ⇒ 千切り絵

生徒代表：3年C組 小山 大空

今回のオンライン文化祭では、授業で扱った『Help～心がつなぐストーリー～』の千切り絵を作成いたしました。新型コロナウイルスの影響で通常開催が困難なため、授業のメンバーで考え、何か残せるものを作りたいという思いで千切り絵の作成に至りました。作成時間が少ない中、6人で協力して作りました。拙い作品ですがご覧ください。

普段の授業では、メンバー仲良く様々な問題について議論し、今まで知らなかったことや互いの考えを理解することを通して、自分の考えが深まりを実感しています。また、社会問題の背景の歴史について、先生がわかりやすく丁寧に伝えてくださるので、問題を考える際に非常に役に立っています。